横瀬から琴平丘陵をたどり岩井堂へ（2019/3/26）

ハイキング部　服部

３月 26 日、まだ春浅い武甲山の麓、横瀬（よこぜ）から羊山（ひつじやま）公園を抜けて、琴平丘陵を縦走し、影森から秩父まで約 10km のハイキングを楽しんできました。横瀬駅前に９時 20 分集合です。朝早く目覚めた部員が１名、30 分も前に着き、そのお迎えを受け、総勢９名が揃い、準備体操をして、いざ出発。

横瀬の田舎道を歩きます。つぼみをつけた花桃の木が庭先にみられます。ひと月遅れの「桃の節句」用に出荷するそうです。水仙が綺麗に咲いています。30 分ほどで、宇根八阪神社（うねやさかじんじゃ）に着きます。謂れのありそうな小さな山車が収納されていました。

水仙

宇根八阪神社の山車

しばらく歩くと羊山公園の芝桜の丘に到着です。さすがに見頃には程遠いものの、ちらほらピンクや白色の芝桜が咲いています。羊の牧舎の脇を通り琴平丘陵へと向かいます。２－３分咲きの桜を見つけました。後ろは武甲山です。

桜の木の後ろに武甲山を見て

ピンクや白色の芝桜が咲き始めた羊山公園

羊山丘陵を抜けて、一度沢ぞこに降ります。トイレを済ませ、いざ琴平丘陵へ。意外にタフな山道です。ただ、今回集まったメンバーは健脚ぞろい、鼻歌交じりに予定時間以上に早く進みます。

琴平丘陵に向かう

琴平丘陵に登っていく

琴平丘陵のほぼ頂上付近の岩塊が露出した場所で楽しい弁当です。目を脇に転ずると、大きな石灰岩の採石場が見られます。武甲山の大規模採石場の隣にある、比較的小さな採石場のようですがそれでも迫力がある大きさです。この頃になると陽射しが出てきて早春の爽やかな空気のなか、スイスイ尾根道を歩きます。スミレが咲き、また名も知らぬ草木が咲いて、今回欠席だったＡ部員がいたら花の名前を教えてもらえたのにと、みんなで残念がります。Ａさん、次回のハイキングには参加してね。

そして今回の目的先の一つの岩井堂に着きます。こんな山の中に脚を立て、立派なお堂を作ったものだと感心します。

岩井堂

（https://tesshow.jp/saitama/chichibu/temple_kagemori_iwai.html）

お堂を過ぎて、昭和電工の工場を抜けて、影森へ抜けるルートもありますが、参加者の疲れ具合、天候などを考慮して、また山道を辿ります。そして、ふと気が付くと、大きな白い観音様が立っています。護国観音だと地図に書いてあります。

護国観音（http://www.monokann.me/entry/2019/01/27/213614）

この観音を過ぎすぐ脇の坂を下り、麓の大渕寺（だいえんじ）に着きます。

大渕寺の桜

東京ではソメイヨシノが21日に開花したものの、秩父ではまだまだと思って出かけたのに、ここやところどころ陽だまりのような場所では桜が咲いておりました。もう春がそこまで来ています。この後、秩父鉄道影森駅から電車でお花畑駅まで戻り、西武秩父までゆくか、このまま西武秩父駅まで歩くか、みんなの意見を聞きますが、歩いてゆくという意見が勝ち、おしゃべりをしながら、ちんたらと裏道を辿ります。ほぼ予定の時間に秩父駅まで戻り駅前で解散、と言っても全員同じ電車で飯能経由池袋線のそれぞれの利用駅までは一緒、電車の中まで、おしゃべりを持ち越し、楽しい一日になりました。今回参加の皆は、この程度のハイキングなら次の日の朝、筋肉痛もなく、爽やかに目覚めたことでしょう。

全体に、アップダウンの少ないコースで、寒くなく、風もなくて、花粉の影響も少なく快適な早春のハイキングになりました。参加していただいた皆さんご苦労様でした。今度は、すぐ近くで見上げていた「武甲山」に登ろうね。

琴平丘陵―岩井堂　ハイキング情報

1. 標高差　　163m、　最高標高 398m　走行距離　約 10.0　ｋｍ
2. 所要時間　　歩行時間約４時間　＋　食事・休憩
3. 集合　横瀬駅　９：20
4. 解散　秩父駅　14：15